

6. 第1回『村落社会研究ジャーナル』編集委員会

◎日時 1993年11月30日

◎場所 明治大学大学院

◎出席者 相川、高橋（明）、長谷川（彦）、東、松田
（アルファ順）

1 投稿状況など

現在、6編の投稿申し込みがある。1994年4月9日を論文提出の締切日に設定する。書評対象の候補として8冊を挙げ得るが、まずその内3～4冊を『ジャーナル1号』で取り上げる。なお原則として、会員の著書を優先的に取り上げる。



2 編集方針

レフェリー制をとり、基本的に学会誌としての性格をもたせる。論文、研究ノートのほか、地区研究会の報告論文、各地の実態調査、報告、海外情報、軽いタッチの論壇、随筆風の私見提起など、幅広く多彩な内容にする。会員の積極的な投稿を希望している。

3 『村落社会研究ジャーナル』論文の投稿規程・執筆要項

審議継続中である。「投稿規程」「執筆要項」が出来た段階で会員へは「研究通信」で広報する予定であるが、投稿予定者にはそれ以前になるべく早く個別的に配布することにする。